Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

第39期（2011年5月期）決算説明会

2011年7月22日

株式会社日本エム・ディ・エム

本資料で示されてる将来予想及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が分析を行い判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。その為、様々な要因により実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

連結決算結果（2011年5月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

連結損益計算書

（単位：百万円、%）

	2011年5月期		前期比増減率	2010年5月期	
	実績	売上比		実績	売上比
売上高	9,531	100.0	△ 3.7	9,894	100.0
売上原価	3,748	39.3	+ 1.3	3,700	37.4
売上総利益	5,782	60.7	△ 6.6	6,194	62.6
販売管理費	5,246	55.0	△ 2.4	5,375	54.3
営業利益	536	5.6	△ 34.5	818	8.3
営業外損益	△ 331	△ 3.5	－	△ 342	△ 3.5
経常利益	204	2.1	△ 57.0	475	4.8
特別損益	△ 52	△ 0.6	－	△ 3,637	△ 36.8
当期純利益	71	0.7	黒字転換	△ 2,358	△ 23.8

連結決算結果（2011年5月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

製品別売上高

（単位：百万円、％）

	2011年5月期 実績	2011年5月期 前期比増減額	2011年5月期 前期比増減率	2010年5月期 実績
日本国内販売	**8,013**	**△ 488**	**△ 5.7**	**8,501**
骨接合材料	4,127	△ 71	△ 1.7	4,199
人工関節	2,521	△ 350	△ 12.2	2,871
脊椎固定器具	621	△ 1	△ 0.2	623
その他	742	△ 64	△ 8.0	807
米国販売※	**1,517**	**124**	**＋ 9.0**	**1,392**
人工関節	1,179	185	＋ 18.7	994
脊椎固定器具	329	△ 58	△ 15.1	388
その他	7	△ 2	△ 20.7	9
合計	**9,531**	**△ 363**	**△ 3.7**	**9,894**
自社製品売上高	**3,371**	**△ 114**	**△ 3.3**	**3,486**
自社製品比率	35.4	＋ 0.1		35.2
※米国販売額（千ﾄﾞﾙ）	17,684	2,715	＋ 18.1	14,969
※換算レート（円）	85.81			93.03

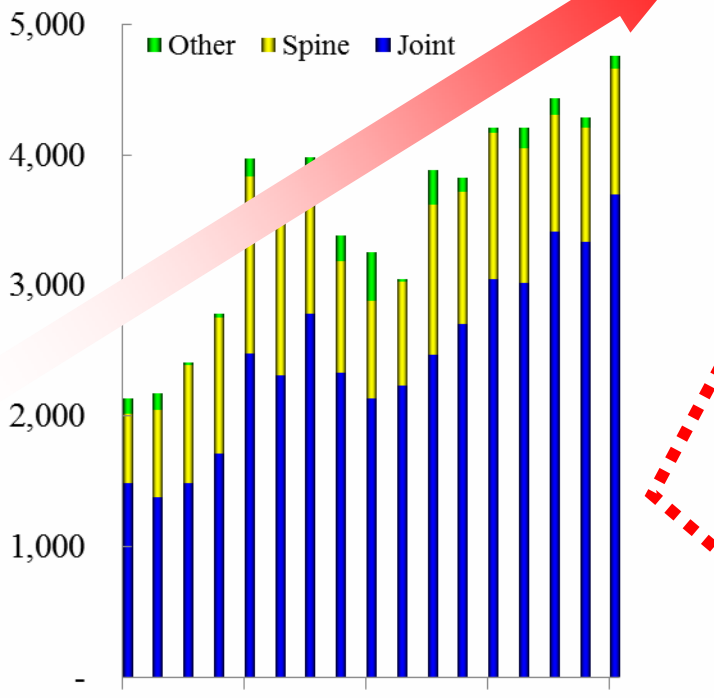
連結決算結果（2011年5月期）

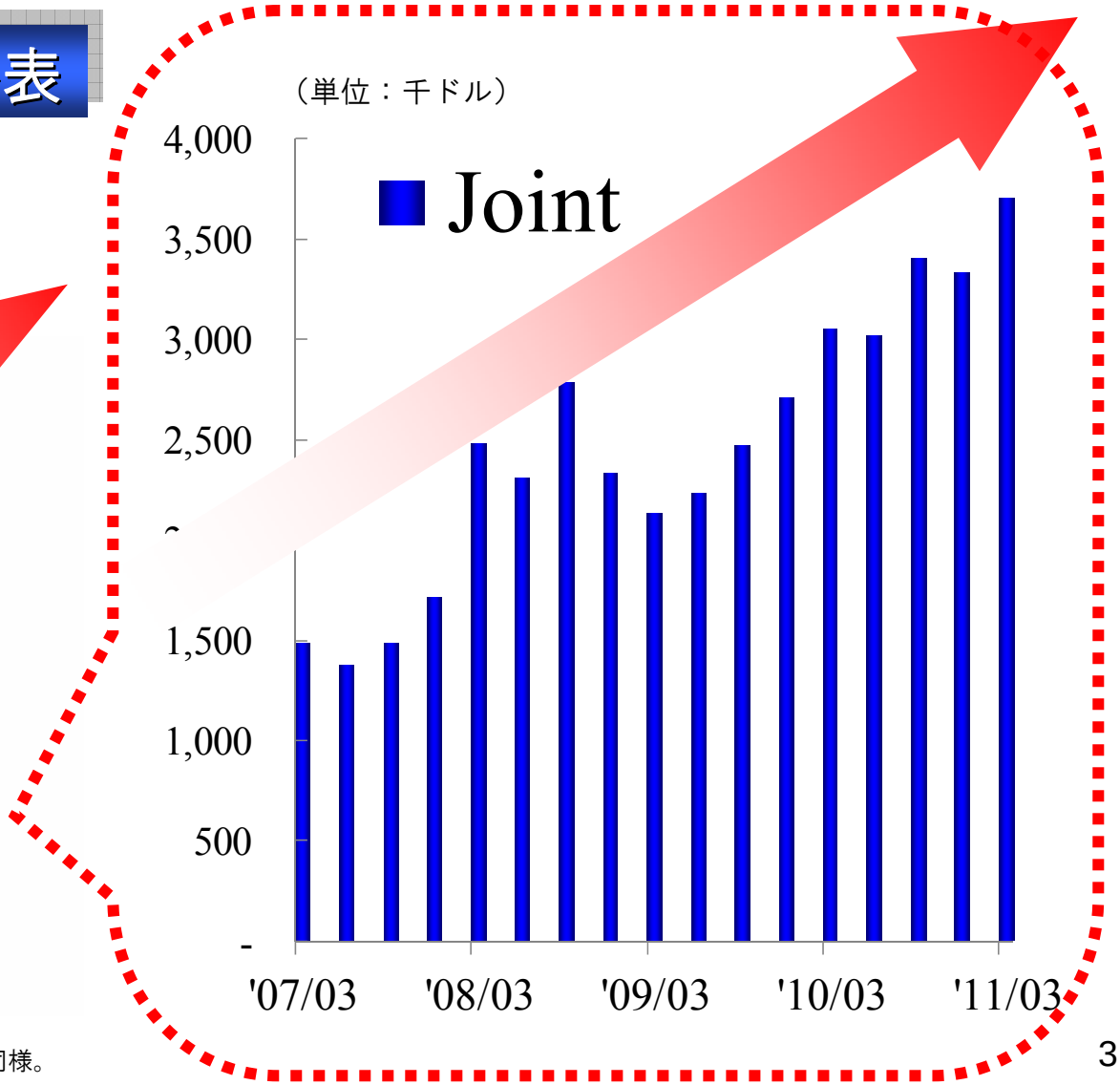
Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

海外売上高四半期推移表

ORTHO DEVELOPMENT

海外売上高総額（単位：千ドル）





※'07/03＝ '07/01～'07/03の期間で算定、以降同様。

連結決算結果（2011年5月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

販売費及び一般管理費

（単位：百万円、%）

	2011年5月期			主な増減要因
	実績	前期比増減額	前期比増減率	
販売関係費	366	Δ 13	Δ 3.6	物流及び営業効率化による減少
人件費	2,191	Δ 37	Δ 1.7	同上
一般経費	528	Δ 47	Δ 8.2	車両費及び事務費の管理徹底、IP活用による通信費の削減
設備費用	1,113	Δ 175	Δ 13.6	資産効率運用に伴う医療工具購入抑制による償却費減少、物流拠点等移転による賃借料等減少
政策的費用	308	102	+ 49.5	積極的な新製品開発投資に伴う研究開発費の増加
支払費用	619	59	+ 10.5	海外売上増に伴うロイヤリティ＆コミッションの増加
その他	118	Δ 16	Δ 12.5	前期物流拠点等移転関連費用の計上
計	5,246	Δ 129	Δ 2.4	引き続き改善、順調に推移

連結決算結果（2011年5月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

営業外損益

営業外損益（純額）△342百万円（前期） ⇒ △ 331百万円（当期）

・有利子負債削減に伴う支払利息の減少　△131百万円 ⇒ △ 81百万円（49百万円改善）

・円高による子会社貸付金の換算に伴う為替評価損を主とした為替差損の計上　△134百万円 ⇒ △197百万円（62百万円増加）

特別損益

特別損益（純額）　△3,637百万円（前期） ⇒ △ 52百万円（当期）

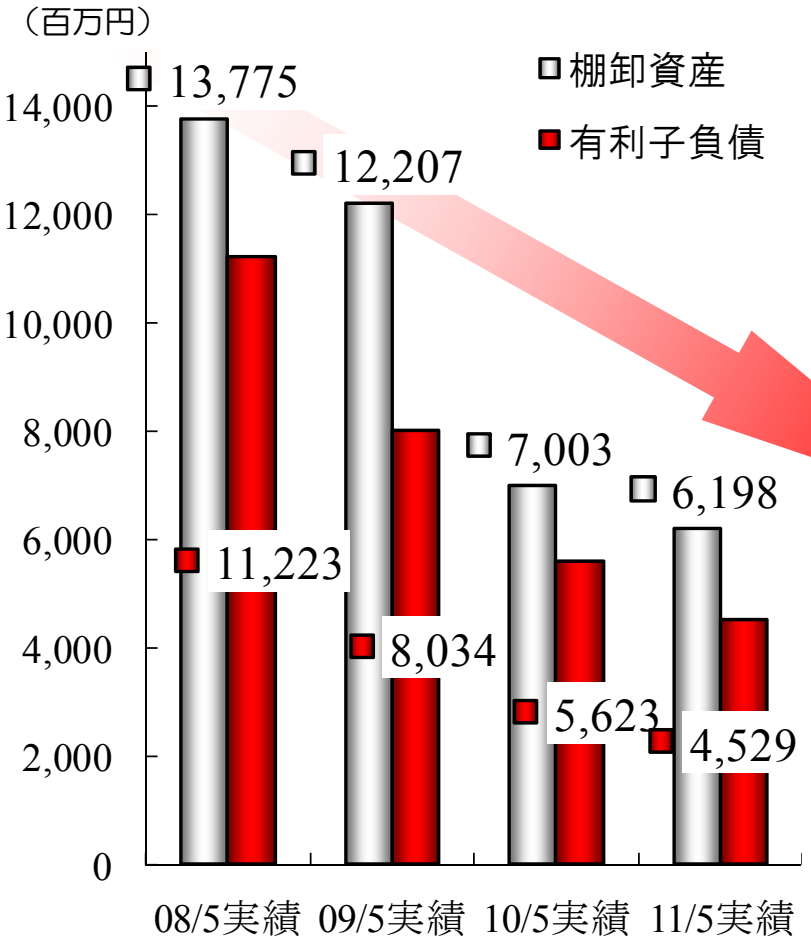
・資産除去債務会計基準変更に伴う影響額の計上　△8百万円（当期）

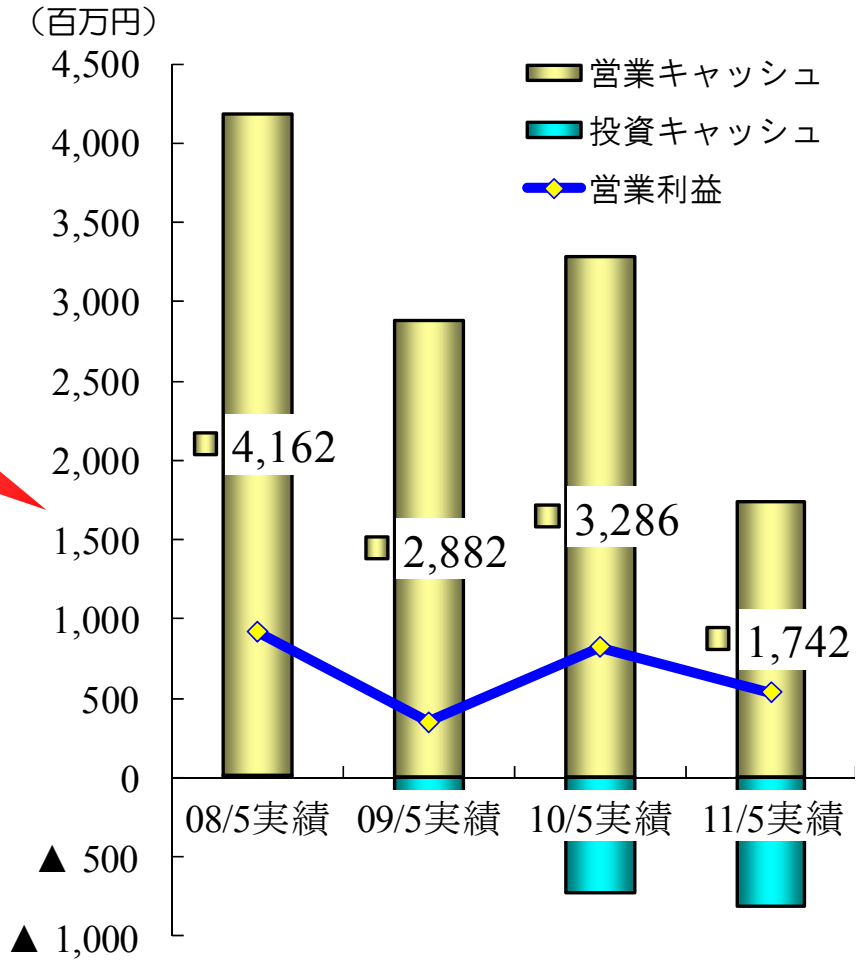
（前期、たな卸資産評価損の計上　△3,748百万円　等）

連結決算結果（2011年5月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

たな卸資産・有利子負債及び営業キャッシュフロー





連結決算予想（2012年3月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

連結決算予想

（単位：百万円、%）

	2012年3月期		（参考）2012 年5 月期		前期比増減率	2011 年5 月期	
	予想	売上比	予想	売上比		実績	売上比
売上高	8,850	100.0	10,300	100.0	+ 8.1	9,531	100.0
売上原価	3,504	39.6	4,080	39.6	+ 8.8	3,748	39.3
売上総利益	5,346	60.4	6,220	60.4	+ 7.6	5,782	60.7
販売管理費	4,826	54.5	5,520	53.6	+ 5.2	5,246	55.0
営業利益	520	5.9	700	6.8	+ 30.6	536	5.6
営業外損益	△ 100	△ 1.1	△ 110	△ 1.1	－	△ 331	△ 3.5
経常利益	420	4.7	590	5.7	+ 188.8	204	2.1
特別損益	△ 90	△ 1.0	△ 110	△ 1.1	－	△ 52	△ 0.6
当期純利益	200	2.3	280	2.7	+ 293.6	71	0.7

※当社は2011年8月19日開催予定の定時株主総会において決算期を現行の5月から3月に変更することを予定しております。
よって、第40期（ 2012年3月期）の予想値は、10ヶ月間（2011年6月1日～2012年3月31日）を算定期間としております。

連結決算予想（2012年3月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

製品別売上高

（単位：百万円、%）

	2012年3月期 予想	（参考）2012年5月期 予想	前期比増減率	2011年5月期 実績	前期比増減率
骨接合材料	3,541	4,191	+ 1.5	4,127	⊿ 1.7
人工関節	3,788	4,372	+ 18.1	3,701	⊿ 4.3
脊椎固定器具	939	1,043	+ 9.6	951	⊿ 6.0
その他	582	694	⊿ 7.5	750	⊿ 8.2
合計	8,850	10,300	+ 8.1	9,531	⊿ 3.7

自社製品売上高	3,760	3,371	⊿ 3.3
自社製品比率	42.5	35.4	

※当社は2011年8月19日開催予定の定時株主総会において決算期を現行の5月から3月に変更することを予定しております。
よって、第40期（2012年3月期）の公表予想値は、10ヶ月（2011年6月1日～2012年3月31日）を算定期間としております。

連結決算予想（2012年3月期）

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

販売費及び一般管理費

（単位：百万円、%）

	2012年3月期 予想	（参考）2012年5月期 予想	前期比増減額	前期比増減率	主な増減要因
販売関係費	311	378	11	+ 3.0	
人件費	1,981	2,315	123	+ 5.6	営業体制強化、物流業務の効率化、ODEV社自社開発品の供給体制強化による見合い
一般経費	458	534	5	+ 1.1	
設備費用	936	1,104	⊿ 8	⊿ 0.8	
政策的費用	323	334	26	+ 8.5	引き続き、積極的な新製品開発投資に伴う研究開発費等の増加
支払費用	723	738	119	+ 19.2	海外売上増に伴うロイヤリティ＆コミッションの増加
その他	90	114	⊿ 3	⊿ 3.0	
計	4,826	5,520	273	+ 5.2	

※当社は2011年8月19日開催予定の定時株主総会において決算期を現行の5月から3月に変更することを予定しております。
よって、第40期（ 2012年3月期）の公表予想値は、10ヶ月（2011年6月1日～2012年3月31日）を算定期間としております。

＜参考情報＞設備投資等の推移表

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

（単位：百万円）

	2008年5月期実績	2009年5月期実績	2010年5月期実績	2011年5月期実績	**2012年3月期予想**
設 備 投 資	558	389	780	836	**1,218**
減価償却費 注）1	1,915	1,351	960	826	**675**
研究開発費	125	155	148	246	**251**

注）1 製造原価算入の減価償却費を含むため、損益計算書上の「減価償却費」とは一致しておりません。

※当社は2011年8月19日開催予定の定時株主総会において決算期を現行の5月から3月に変更することを予定しております。
よって、第40期（ 2012年3月期）の公表予想値は、10ヶ月（2011年6月1日～2012年3月31日）を算定期間としております。

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

中期経営計画
New Concept of MDM
～第40期（2012年5月期）～

2011年7月22日

本資料で示されてる将来予想及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が分析を行い、判断した予測であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。その為、様々な要因により実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

第39期レビュー

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

業績レビュー

第39期は、競争激化の影響により国内販売は計画通り伸張せず、北米販売についても人工関節が大幅に伸張したものの円高の影響により、計画は未達成であった。
戦略的販売ミックスへのシフトにより原価率を改善することができ、また、販管費の削減効果もあり営業利益の減少を最小限に留めることができたが、子会社貸付金の円換算による為替評価損が主な要因となり、段階利益は計画を下回った。
たな卸資産は一部新製品の前倒し導入により計画を上回ったが、有利子負債は順調に減少し、財政状態の改善は計画を上回った。

（単位：百万円）

連結	第39期（2011年5月期）計画	**第39期（2011年5月期）実績**
売上高	10,200	**9,531**
営業利益	700	**536**
経常利益	520	**204**
当期純利益	300	**71**
たな卸資産	5,700	**6,198**
有利子負債	4,700	**4,529**

第39期レビュー

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

重要施策レビュー

「メーカー機能強化」

・自社製品販売の拡充（自社製品比率35.2%→35.4%:対38期比）
・新規自社開発製品の薬事承認申請及び薬事承認取得

「商社機能強化」

・ナカシマメディカル社との販売提携契約締結
・顧客リレーションの更なる強化→3100施設との取引（39期実績）

「海外事業拡大」

・人工関節を中心とした北米エリアの販売拡充（海外売上高比率14.1%→15.9%:対38期比）

「物流機能強化」

・Web受注率向上による業務効率化促進
・在庫保有基準の見直し及び在庫適正化に向けた運用開始

「人材強化」

・即戦力営業マンの採用
・社内外トレーニングによるマネジメント、プロフェッショナルの継続的育成強化

第40期の位置づけ

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

第40期

高収益体質転換に向けた実行
自社開発/新規提携製品の本格導入開始

中期経営計画
New Concept of MDM
～Change The Rule～

第39期

自社製品薬事申請・承認/新規提携契約締結

第38期

自社製品開発着手/新規提携交渉開始

実行段階へ

準備段階から

第40期業績目標

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

第40期は、自社開発及び新規提携によるさまざまな新製品導入により日本国内での症例数の拡大ならびに北米販売が人工関節を中心に伸張すると見込まれることから、売上高が増加に転じると見込んでいる。
また、一部償還価格改定の影響を受けるが自社製品比率の増大により原価率の上昇を最小限に留め、販売関連費用等の効率的活用により利益増大を見込んでいる。
たな卸資産及び有利子負債は更に削減し、一層の財政状態の改善に取り組んでいく。

（単位：百万円）

連結	第39期 （2011年5月期） 実績	第40期 （2012年3月期） 計画	*第40 期 （2012 年5 月期） 参考*
売上高	9,531	**8,850**	***10,300***
営業利益	536	**520**	***700***
経常利益	204	**420**	***590***
当期純利益	71	**200**	***280***
たな卸資産	6,198	**5,700**	
有利子負債	4,529	**4,000**	

※計画の前提条件：為替￥80.82⇔$1.00
※当社は2011年8月19日開催予定の定時株主総会において決算期を現行の5月から3月に変更することを予定しております。
　よって、第40期（ 2012年3月期）の公表予想値は、10ヶ月（2011年6月1日～2012年3月31日）を算定期間としております。

第40期重要施策

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

メーカー機能強化
・自社開発製品の段階的導入実施
・自社製品開発の更なる促進に向けた開発部門強化

商社機能強化
・新提携製品の段階的導入及び拡販戦略実行
・新規提携候補企業との継続交渉及び契約締結

海外事業の拡大
・北米における人工関節製品の更なる拡販戦略実行
・新興国進出に向けた基盤確立

物流機能強化
・新製品の段階的導入における円滑運用の実施
・物流業務効率化に向けたプロセス簡素化の更なる促進

人材強化
・マネジメント層の継続強化
・製品研修を主体としたスペシャリスト育成研修実施

高収益体質転換への実行

第41期に向けて

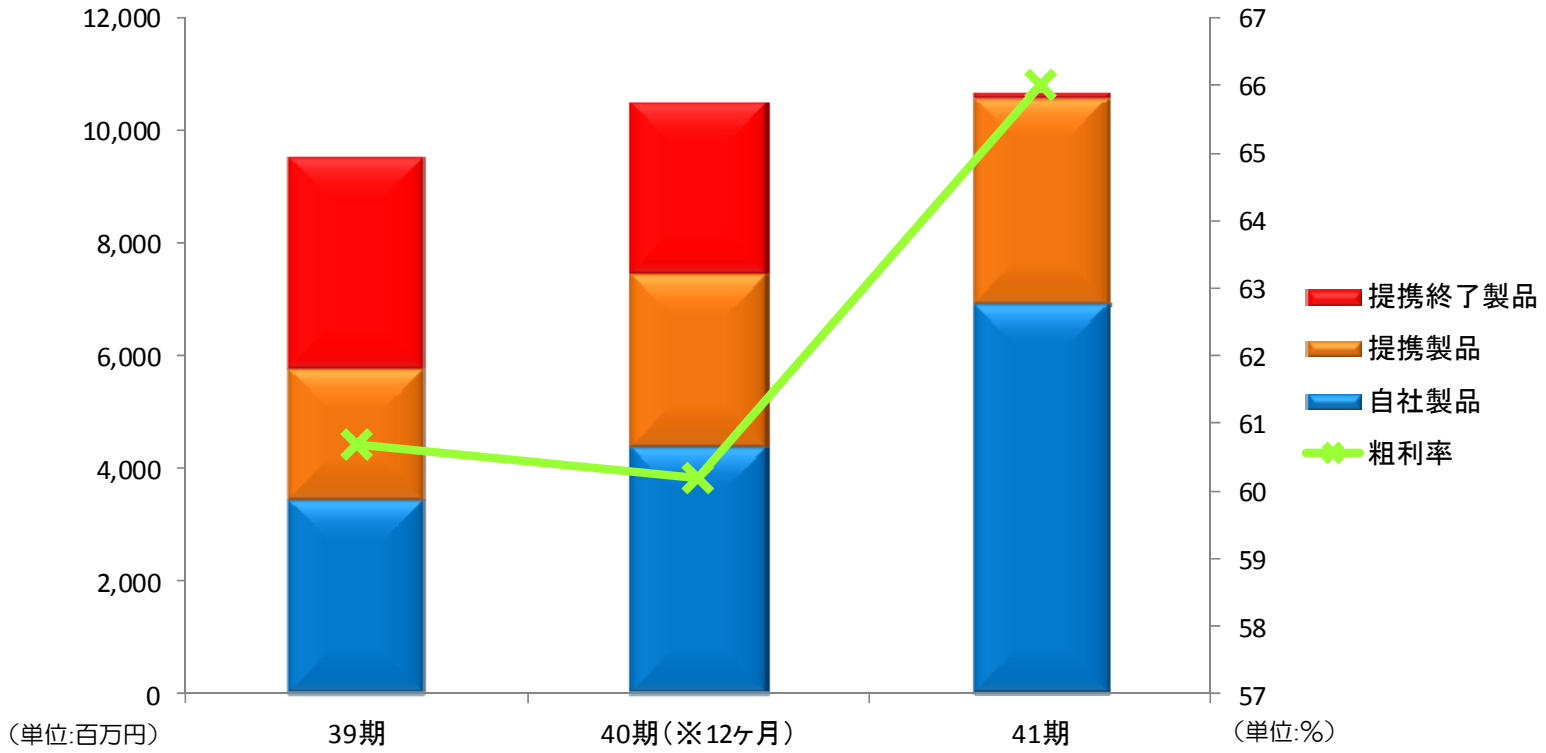
Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

Point1

2012年6月末にジョンソンエンドジョンソン（株）との販売提携契約は終了となるが、市場のトレンドならびに日本人体型に合致し、かつ利益率の高い自社製品を市場導入することにより、売上増加のみならず大幅な利益率の改善が可能となる。

Point2

人工関節分野において慢性疾患領域への本格参入を自社開発製品で果たすことにより、巨大市場からの症例取り込みによる売上拡大が可能となる。



第41期～取扱カテゴリー/製品

Japan Medical Dynamic Marketing, INC.

巨大市場・成長市場にフォーカスした効率的製品展開

	取扱領域/取扱メーカー				コメント
	第40期		第41期～		
骨接合材料	14領域	19製品 J&J	10領域	10製品～自社製品	提携製品から自社製品への大幅シフト
		3製品 ナカシマ			
		1製品 オーミック		5製品～提携製品	
		7製品 自社製品			
人工関節	2領域	4製品 自社製品	3領域	5製品～自社製品	自社製品ラインナップ拡充・慢性疾患分野への本格参入
		1製品 JMM		1製品～提携製品	
脊椎固定器具	6領域	1製品 自社製品	6領域	1製品～自社製品	提携企業との関係強化による更なる販売拡大
		9製品 ZIMMER		9製品～提携製品	

※2製品以上を投入して展開する領域あり